

成績評価基準等について

・成績評価基準について

各科目において100点を満点として、40点以上を合格（認定）、39点以下を不合格（不認定）とする。

成績評価はA（100～80点） B（79～60点） C（59～40点） D（39～0点）とする。

成績評価は各科目にて行われ「定期試験」「課題」「レポート」「授業態度」「出席率」などにより、担当教員が評価する。39点未満の科目においては、追試申込日に本人が申し込みを行うことで、追試験を受けることができる。

・科目の合格の認定に必要な出席時間数

a. その科目の実施時間数の20%以内の欠席であること。

b. ただし、40%以内の欠席の場合は、補充時間指導を受けることができる。

c. 補充時間指導については学期ごとに40時間を上限とし、学校内にて決められた時間に従って、指導を行う。学校にて完了することのできなかった課題は次の日までに家で実施して完了させる。また、無断で遅刻および欠席をしたり、実施時間にて不真面目な行動があった場合については、補充時間指導を中止する場合がある。

d. 病気・けが等による長期入院については医師の診断書により考慮される場合がある。

・診断書等により考慮することができるのは年度ごとに1回のみとする。

・診断書等にて考慮する場合は改善の見込みがある者のみとする。

※特別に許可し、補充実施後に20%を超える欠席がある場合で改善の見込みがない場合、補充の実施は行わない。

e. 欠席時間数が実施時間の40%を超える場合またはb～dにより20%以内に補充できなかった場合はその科目を不認定とする

・成績分布について

以下の通り客観的な指標の算出方法し、成績の分布について把握する。

履修科目の成績（点数）について、全科目の合計点の平均点を客観的指標とし、学科ごとの成績分布を算出する。

指標 範囲	0～ 39点	40～ 49点	50～ 59点	60～ 69点	70～ 79点	80～ 89点	90～ 100点
人数	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人

下位1/4に該当する人数_____人

下位1/4の指標点数_____点以下

・卒業判定・進級判定について

卒業および進級に必要な習得科目時間数は次の通りとする。単位認定会議において判定を行う。

情報ビジネス科（２年制）

卒業	履修する２年間の科目時間数（２１００時間）の８５％以上（１８００時間）とする。
進級	履修する１年次の科目時間数（１０８０時間）の８５％以上（９３０時間）とする。

高度情報ビジネス科（２年制）

卒業	履修する１年間の科目時間数（１９２０時間）の８５％以上（１６２０時間）とする。
進級	履修する１年次の科目時間数（ ９６０時間）の８５％以上（ ８１０時間）とする。